図書館司書(あかし市民図書館・西部図書館)

10月11日(金)

館長・副館長含む司書 4 名から聞き取り

市立図書館の役割、取り組み、課題など

- ・従来の図書館像にプラスアルファした図書館を目指して 取り組んでいるが、うまく PR できていないと感じる(ビ ジョン検討委員会傍聴やワークショップ参加を経て)。
- ・学校や地域との連携についても、図書館側からアプロー チすることがほとんどで、「図書館で何ができるか」が知 られていない。広く周知していく必要がある。
- ・登録ボランティアである「市民による夢の図書館プロジェクト(D チーム)」では、ボランティアが主体的に話し合い、やりたいことを企画化している。他市の図書館ではこういった動きがあるところは少ないと思う。

ブックスポットとの連携について

- ・実際に話をする機会がなく、どういった人が運営しどういった困りごとがあるかも分かっていない。
- ・ブックスポットの蔵書を図書館の団体貸出で賄うことで、本の活用・循環につながり、ブックスポット助成金ももっと他の部分に充てられるのではないか

学校司書

10月10日(木)

学校司書 2 名及び司書支援員 2 名から聞き取り 勤務体制

- ・ 週 5 日もしくは 週 3 日 (2 校担当)
- ·小学校=8:30~15:30/中学校=10:00~16:30

普段の取り組みや課題について

- ・学校図書館から各クラスに貸し出す学級文庫は小・中とも 子どもたちに好評
- ・始業前 10 分程度の「朝読書」は、子どもたちの集中力など に好影響だが、最近は学習に充てられることが増えている (授業数不足、英語の教科化)
- ·2 校兼務や配置換えの頻度から、学校や子どもたちとの関係性構築が十分でないと感じる
- ・もっと図書委員と一緒に利用促進に向けて取り組みたいが、図書委員会(会議)と勤務日が合わないなど、なかなかうまくいかない

市立図書館に期待すること

- ・図書館司書がおすすめ本を紹介しに来てくれたり、学級 ごとに定期的に貸出をしてもらえると、学校図書館に無 い本を子どもたちに読ませてあげられる
- ・二見の子どもたちは二見図書館の完成を楽しみにして いる。毎日開いている図書館というのが嬉しい様子

あすく(明石市障害当事者等団体連絡協議会)

8月1日(木)あすく定例会にて質問書を配布し回答依頼

→明石ピアポの会、明石難聴者の会のみ回答あり

図書館にあって良かったサービス/ほしいサービス

- ・明石と西部で相互返却できるのが便利
- ・無料給水スポットがほしい/喫茶スペースの拡充
- ・雑誌の充実
- ・返却ポストの数拡充
- ・司書の人数増加(人対人だと検索機よりスムーズに必要な情報に辿り着ける)

これからの「本のまちづくり」に必要と思うこと

- ・駅のコンコース広場に自由に本を置ける/持ち帰りできる スポットがあるといい
- ・駅の中などに小さな読書スポット
- ・明石ならではの「時の記念日」などに図書カード配布
- ・図書館で貸出スタンプカード(貯めたら何か特典)

こども図書室(子育て支援センター)利用者

10月11日(金)

大久保こども図書室利用者 2 名から聞き取り

こども図書室について

- ・子どもを安心して遊ばせられる場所
- ・絵本選びのポイントなどスタッフに尋ねられる
- 手遊びなどのイベントがあるので訪れるきっかけになる
- ・イベントや貸出期限などがアプリで確認できるとよい

図書館について

- ・小さい子ども連れ(ベビーカー)では大久保から電車で行く のが大変で、パピオスの駐車料金が高いのがネック
- ・大久保に図書館が出来るのが楽しみ

本のまち/本のある場所に期待すること

- ・子どもを安心して遊ばせられたり、子どもを連れてゆっくり くつろげる場所が増えるとよい
- ・子育てについてなど、ちょっとした相談ができる人がいると 利用する人が増えそう